

食物経口負荷試験においてアナフィラキシーを発症された患者さん

の情報の研究利用についてのお知らせ

この度、三重県立総合医療センター小児科では、「食物経口負荷試験に関連する重篤な有害事象に関する調査」を実施することになりました。

この研究の目的は、食物経口負荷試験によるアナフィラキシーの実態を把握し、安全な負荷試験の方法を確立することです。

この研究のため、西暦2017年1月から同12月までに、当院で食物経口負荷試験を実施され、アナフィラキシーを発症された方の調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（合併症の有無、治療経過等）のみです。患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査した情報は本研究責任者の下で厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

この研究に必要な資金は、厚生労働行政推進調査事業が準備します。研究を実施するにあたり、研究者が公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けていることはありません。

また、ご自身の情報を研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関する資料をご覧になりたい場合、またはご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

西暦2018年9月

三重県立総合医療センター小児科

研究責任者：西森久史

連絡先：059-345-2321（代表）